

第4学年 社会科学学習指導案

日 時 令和7年1月21日 5校時
13時15分～14時00分
対 象 第4学年2組 22名
指導者

1 単元名 「すごろくで学ぼう！六郷用水」

2 単元目標

- (1) 当時の世の中の課題や人々の願いについて、地域の発展に尽くした先人は江戸の人々の生活の向上に貢献したことを理解する。 【知識及び技能】
- (2) 先人の働きと地域の発展や人々の生活向上を関連付けて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 六郷用水のその後の様子などを現代の地域の人々の生活と関連付けて、これからの地域社会の発展について考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、地図や具体的資料などで必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見出し、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例について考え、表現しようとしている。	①東京都の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、既習事項を振り返ったりして、主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。
②調べたことを思考ツール、文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の江戸の人々の生活の向上に貢献したことを理解している。	②先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現している。	②六郷用水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活と関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしている。

4 単元について

(1) 指導内容

「すごろくで学ぼう！六郷用水」の単元は、地域の発展に尽くした先人が、様々な苦心や努力により、当時の生活向上に貢献したことを学ぶことのできる学習単元となる。その中で、六郷用水を取り上げる。小泉次大夫らの苦心や努力により、六郷用水の開削が進められ、水不足が解消し江戸の人々の生活が向上していった。これらのことから、先人の働きについて自分たちの願いや、現在の人々の生活とのつながりを意識しながら学習を展開していく。学習初期段階では、「水神社」から学習をスタートして六郷用水に目を向け学習を展開していく。また、学習中盤では、六郷用水を作った、小泉次大夫の業績や六郷用水ができるまでの歴史に迫る。さらに、用水の工事の工夫や六郷用水の通り道を調べることで先人たちの努力があり今日の生活があること、また、地域の生活と関連付けられるようにしていく。このように学習を進めることで、地域の発展に尽くした先人は、さまざまな苦心や努力により、当時の人々の生活の向上に貢献したことを理解できるようにする。

(2) 創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として設定した理由

地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしいという保護者の願いや、笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしいという地域社会の要請を踏まえ、本校では、育成を目指す創造的な資質・能力を「未来を切り拓く力」とし、児童がもち味を生かして挑戦できる学習として本単元を設定した。

5 児童の実態

本学級の児童は、社会科の授業において集中して話を聞き、課題に対して積極的に取り組む児童が多い。資料を熱心に見たり、タブレットで情報を集めたりし、そこで得た情報を基に「わたしたちのくらしとごみ」をノートにまとめたりリーフレットを作ったりした。

今年度、社会科の授業では、1学期に「わたしたちのくらしとごみ」や「たいせつな水」の学習を行った。ごみは種類ごとに分別されているということ。普段飲んでいる、使っている水は様々な所を通り、私たちの所へ来ていることを学んだ。水道やごみの処理について、その仕組みを理解し、下水やごみといった自分たちが「汚い」と感じているものの処理に機械だけでなく、たくさんの人が働き、工夫や苦勞をすることで、住みやすい環境ができていることを学習した。また、2学期の10月までは、「きょう土の伝とう文化 受けつがれる祭り～鹿島おどり～」学習を行った。東京都にはたくさんの文化財や年中行事があり、その中でも、鹿島おどりについては、長い間、祭りを受け継いできた人たちの苦勞や思いに触れ、文化財や年中行事には、受け継いできた人たちの思いや願いが込められていることを学習した。本小単元では、六郷用水と小泉次大夫の功績について取り上げる。現在はなくなっているため名前も知らない児童が多いと推測される。何のために作られたのか、いつ頃できたのかを理解して、学習を進めていく。また、自分たちの住む大田区の発展に六郷用水が大きく関わったことを知ることで、小泉次大夫や六郷用水に携わってきた先人たちの工夫や努力に気付かせていきたい。

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

互いが書いたことを見合い、児童が互いのよいところを見つけ合い、伝え合う活動を通して、問題の発見や解決に向かって、自分や他者のよさを生かして協働しながら、主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて

(1) 協働的な学び

個やペア、グループ、学級全体と学習形態を工夫することで、自分のよいところ、他者のよいところを見つけ合い、伝え合う活動ができるようにする。また、個の学びと集団の学びを往還することで、児童が自分のもち味を生かし、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。

(2) ICT等の活用

児童用タブレット端末内のアプリ、オクリンクプラスを活用することで複数の児童が同時に画面を共有し作業することで、考えを共有することができるようにする。考えを共有することで、互いのよさや自分のよさを分かるようにする。

8 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて	◆評価規準 【観点】(方法)
1	つかむ	○水神社にはどのような願いがこめられているのかを考える。 ★水神社にはどのような願いがこめられているかをノートに書き、共有する。 ○知りたいと思ったことを考えさせる。 ○学習問題を作る。 ○作った学習問題を基に学びを深めていくことを確認する。	【知】①(発言・観察) 【思】①(発言・記述) 【主】①(発言・観察)
2 ～ 6	ひろげる	○六郷用水を作った人がどのような思いなのか、考える。 ★友達と意見交流をさせ、自らの考えを深める。 ○六郷用水の通り道はどのように決められたのか考える。 ○六郷用水の工事にはどんな工夫や努力があったのかを理解する。 ★友達と意見交流をさせ、自らの考えを深める。 ○六郷用水ができて村のくらしはどれくらい変わったか考える。 ★友達と意見交流をさせ、自らの考えを深める。	【知】①②(発言・記述) 【思】①②(発言・記述) 【主】①②(発言・タブレット)
7 (本時) ～ 10	まとめる	○これまで学習してきたことを基に六郷用水ができるまでをすごろくにまとめる。 ★タブレットに入力させ、思いつく限り考えを広げる。 ★友達と意見交流をさせ、自らの考えを深める。	【知】②(記述・観察) 【思】②(記述・観察) 【主】①②(発言・観察)

9 本時の指導(全10時間中の第7時)

(1) 目標

東京都の先人の働きについて、既習事項を振り返り、主体的に問題を解決しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて ※指導上の留意点 ◆評価規準【観点】(方法)
導入	○どのようなことを学習してきたか、時系列ごとに写真を並び替える。 ・六郷用水は江戸時代の人口が増えたから作られたんだね。 ・小泉次大夫が六郷用水を作ったんだね。	※児童が想起しやすいように、教科書にある写真や資料を印刷して黒板に貼る。

	<p>○すごろくを作ること、そして、作った後に学級で遊ぶことを知る。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>※教員の見本を出して、見通しがもてるようにする。</p>
	<p>学習したことの中から、すごろくに書きたいことを決めよう。</p>	
展 開	<p>○すごろくのひとマス目と終わりのマス目にはどのような出来事を書けばいいか学級全体で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康が江戸（東京）に来る。 ・六郷用水が完成した。 <p>○すごろくを作る際の注意点を知る。</p> <p>○すごろくのマス目に書く内容をタブレットに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道塚村から用水を掘り始める。 ・主な 23k mある水路が完成する。 ・3か月工事が休みだから、3回休み <p>○作成の途中でどのようなマス目を作っているか、友達同士で見合い、良い所を見付けて伝え合う。</p> <p>○友達のすごろくを見てもう一度すごろくに書く内容を考えて書き足す。</p> <p>○タブレットに書いたことを提出する。</p>	<p>※すごろくを作る際の注意点を電子黒板に投影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートを1番昔にして、ゴールに向かって新しいことを記入させる。 ・徳川家康や小泉次大夫を必ず登場させる。 ・六郷用水と二ヶ領用水の工事を交互に行っていたことが分かるようにする。 ・10マス以上は必ず文字を入れさせる。 <p>※西暦を入れると分かりやすいことを伝える。</p> <p>◆【主】①（タブレットへの記述）</p> <p>東京都の先人の働きについて、既習事項を振り返り、主体的に問題を解決しようとしている。</p> <p>※机の上にタブレットを置いて見合う。</p> <p>★互いが書いたことを見合い、児童が互いのよい所を見付け合い、伝え合う活動を通して（自分や他者のよさを生かして協議しながら）主体的に取り組もうとする態度を身に付ける</p> <p>※提出し終わったら友達の考えを読ませる。</p>
振 返 り	<p>○振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を発表する。 	<p>※次時も引き続き作成することを伝える。</p>